

かわさき

社協だより

2021.1 No.89 発行：社会福祉法人 川崎町社会福祉協議会
〒989-1501 川崎町大字前川字北原23-1
TEL 0224-85-1222 FAX 0224-85-1224
E-mail kawasakit-shakyo@io.ocn.ne.jp

ふれあいネットワーク



～川校和太鼓～



空に舞え、
大地に響け、
いざ演舞

お昼に聞こえてくる太鼓と元気な掛け声。隣接する
柴田農林高等学校川崎校の和太鼓の音です。
川崎町デイサービスセンターを利用している方々より、
いつかその演舞を見てみたいとの声がありました。
要望に快く応えていただき、今回実現しました。

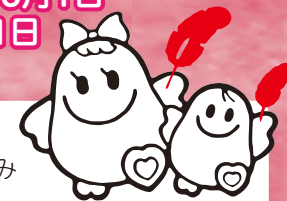


令和
2年度

赤い羽根共同募金

運動
期間

令和2年10月1日
～12月31日



12月1日現在

赤い羽根募金は、宮城県共同募金会に送金し、次年度の福祉事業の財源として配分されます。
主に社会福祉協議会や社会福祉施設、NPO、ボランティア団体等、また、地域住民同士の支えを生み
出す地域福祉活動にも使われております。皆様のご協力ありがとうございました。

	行政区名	赤い羽根 募金世帯数	募金額		行政区名	赤い羽根 募金世帯数	募金額
1	裏丁上	136	81,600	12	小野	70	42,000
2	裏丁下	165	99,000	13	川内一	142	85,200
3	本荒町	194	116,400	14	川内北川	181	108,600
4	中新町	209	125,400	15	川内二	58	34,800
5	前川東部	81	48,600	16	川内三	60	36,000
6	前川西部	87	52,200	17	本砂金	86	51,600
7	青根	53	31,800	18	小沢	20	12,000
8	立野	130	65,000	19	支倉上	112	67,200
9	野上	165	99,000	20	支倉下	51	30,600
10	古関	44	26,400	21	碁石	87	52,600
11	笹谷	23	13,800	22	支倉台	162	68,600

職域・団体募金

- 川崎町役場職員一同
 - 川崎町社会福祉協議会職員一同
 - 国保川崎病院職員一同
- 合計:20,223円

学校募金

- 富岡小学校児童一同
 - 富岡中学校生徒一同
 - 川崎小学校児童一同
 - 川崎中学校生徒一同
 - 川崎第二小学校児童一同
 - 前川小学校児童一同
 - 柴田農林高等学校
川崎校生徒一同
- 合計:24,143円

個人募金

- 佐藤 正男様……………30,000円
 - 太田 和子様……………10,000円
- 合計:40,000円

赤い羽根募金総世帯数：2,316／合計額：1,348,400円

赤い羽根共同募金合計額：1,432,766円

令和
2年度

川崎町社会福祉協議会会費

にご協力ありがとうございました。

～地域福祉事業は皆様の会費によって支えられています。～

今年も住民の皆様のあたたかいご協力をいただきまして心より御礼と感謝を申し上げます。
また、取りまとめたいただいた行政区長さんをはじめ、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

12月1日現在

	行政区名	一般会費 加入世帯数	会費納入額		行政区名	一般会費 加入世帯数	会費納入額		行政区名	一般会費 加入世帯数	会費納入額
1	裏丁上	135	135,000	9	野上	165	165,000	16	川内三	60	60,000
2	裏丁下	165	165,000	10	古関	42	42,000	17	本砂金	86	86,000
3	本荒町	198	198,000	11	笹谷	23	23,000	18	小沢	19	19,000
4	中新町	209	209,000	12	小野	74	74,000	19	支倉上	112	112,000
5	前川東部	81	81,000	13	川内一	142	142,000	20	支倉下	51	51,000
6	前川西部	87	87,000	14	川内北川	181	181,000	21	碁石	85	85,000
7	青根	56	56,000	15	川内二	58	58,000	22	支倉台	162	162,000
8	立野	130	130,000								

一般会費加入総世帯数：2,321／合計額：2,321,000円

かわさき

社協だより

2021年1月
【No.89】

発行：社会福祉法人川崎町社会福祉協議会 川崎町大字前川字北原23-1 TEL.0224-85-1222
ホームページ <http://www.kawasaki-shakyo.com/pc/> または 川崎町社協で検索してください
制作/印刷:株式会社ホクトコーポレーション

認知症サポーター養成講座



11月26日、12月10日と宮城県立支援学校岩沼高等学園川崎キャンパス生徒を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。認知症についての話や、ロールプレイなどを行い、認知症についての理解を深めました。この養成講座は、認知症について理解してもらうための基礎講座として行っております。各地域で開催することも可能ですので、お気軽にご相談願います。

～お問い合わせ先～

●川崎町地域包括支援センター 84-6021 ●川崎町社会福祉協議会 85-1222

～柴田農林高等学校川崎校のみなさん、今年もたくさんありがとう!～



圧巻の
和太鼓演舞!

代表生徒さんのあいさつの中で、一般の方の前で披露するのが初めてとのことと緊張もしているとのことでしたが、みなさん堂々として気持ちのこもった、素晴らしい演舞でした。利用者の方々からもサプライズの演出、演舞に勇気と元気をもらえた、ありがとうと感動の声をいただくことができました。協力いただいた皆さん、ありがとうございました!!

表彰おめでとうございます。

令和二年十二月五日、第六十六回宮城県社会福祉大会が開催されました。今年は、コロナ感染予防対策として開催規模を縮小し代表受賞者のみで開催されました。川崎町からも日頃の社会福祉活動に功績のあった方々が表彰されました。受賞された方々おめでとうございます。

第六十六回 宮城県社会福祉大会表彰者 (敬称略)

宮城県知事表彰

【褒状】

○共同募金奉仕者

小原 迪(小沢)

宮城県社会福祉協議会会長表彰

【表彰状】

○民生委員児童委員功労者

大宮 妙子(立野)

社会福祉協議会役職員功労者

石川 憲夫(立野)

宮城県共同募金会会長表彰

【感謝状】

○奉仕功労者

相原 良二(川内三)



ボランティア活動



昨年から川崎町デイサービスセンターのボランティアをしていただいています。今年はコロナウイルス感染予防の観点から、花壇・畑の草むしり、窓ふきや落ち葉払い等、屋外作業を中心に、今できることを手伝っていただいています。これからもよろしくお願いします!

3日目

KYT (危険予知トレーニング)

3日目は、地震発生時のKYT訓練を行いました。KYTとは、「危険のK」、「予知のY」、「トレーニングのT」をとった危険予知トレーニングの略称です。グループごとに1枚のイラストを見てもらい、地震が起きた時にどのような危険が考えられるかを話し合ってもらいました。全員で意見を出し合うと、一人では思いつかなかった危険箇所が分かるなど、皆さんで意見を出し合う必要性を学んでいました。また、4日目の予習として、避難所とはどういうところなのかを画像や体験談などを通して、事前に学んでもらいました。



4日目

避難所体験

4日目は、避難所体験を行いました。まず、避難所とはいつからいつまで、どこで、どういう目的で使われるのかなど、全員で考えてもらいました。

次に、新聞紙など限られた材料を使って作る、もの作り体験を行いました(スリッパ、マスク)。避難所には物資がなかったり、届くとしても時間がかかることが多いですが、材料さえあれば、すぐにいろいろなものを作る事ができることを学んでもらいました。

最後に、段ボールで作るベッドを皆さんで考えてもらい、長持ちする耐久性と強度、持ち運びのできるベッドという課題のもとに、2グループにわかれて作ってもらいました。皆さんアイデアを出し合って、試行錯誤しながら完成させていました。

5日目

バーチャルマップ作り

5日目は、みなさんに仮想の町の住民になりきってもらい、災害発生し時間とともに状況が悪化していく設定の中、いくつか課題を出し、どうすれば解決できるのかを町の地図に書き込みながら考えてもらうワークを行いました。避難場所や避難方法、誰が救助にあたるのか、必要な道具は何かなど、限られた時間の中で意見を出し合いながら一生懸命考えていました。災害が発生した時の協力・支え合う大切さを学べたのではないかと思います。まとめとして、5日間の防災学習を振り返り、印象に残っていること、気付いたことなどを一人一人発表してもらいました。



今回の防災・ふくし教育プログラムで学んだことを、災害が起きた時に少しでも活かしてほしいと思います。

川崎町社会福祉協議会では、防災・ふくし教育プログラムに関する出前講座を随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

防災・ふくし教育プログラム

災害とは何か?防災とは一体どのようなことをするのか?実際に体験でもしない限り、具体的に答えられる子どもたちはいないと思います。

防災・ふくし教育プログラムでは、実際に使う防災グッズや危険予知トレーニング、避難所体験や防災マップを作成しながら災害や防災についての知識を身に付けていき、いつどこで起きるか予測できない災害に備えることも目的に行いました。



1日目

防災ビンゴ

1日目は、これから学ぶ災害や防災についての説明を行い、グループに分かれて防災ビンゴを行いました。防災ビンゴとは、各グループごとにひとつの家族となり、家族構成を決めたら、各グループから一人ずつ代表でじゃんけんを行います。じゃんけんに勝ったら非常用の備品が描いてあるカードを1枚引いて、すべての備品カードがそろったチームの勝ち!というゲームです。違うカードを引けず同じカードを何回も引いてしまったりと、なかなかスムーズには揃いません。最終的に全グループがリーチとなり、とても盛り上がりました。手持ちのカード(備品)を確認してもらい、それぞれのグループ(家族構成)の中で不足している備品は何か、必要以上にある備品は何かを話し合ってもらいました。ゲームを通じて、防災備品に関する知識やお互いに協力する大切さを学んでもらいました。



2日目

非常用持ち出し袋の中身はどんなもの?

2日目は、宿題にしていた自宅の非常持ち出し袋には何を入れるかを発表してもらいました。また、ひとり暮らし用の非常用持ち出し袋にはどのようなものが入っているのか、皆さんに見てもらいました。さらに非常持ち出し袋や非常食に関するクイズを出題して、詳しく学んでもらいました。

続いて、非常食の試食を行いました。児童の皆さんには、じゃがりこにお湯を注いでできるじゃがりこサラダやアルファ米、パスタを試食していただきました。非常食はこんなに簡単にできるのに、どうしてこんなにおいしいの?と驚いていました。

ひとり暮らし高齢者のつどい

ほのぼの会 開催しました！



体操して、心も体もリフレッシュ!!



民生児童委員の高齢福祉部会の方々の協力をいただきました。



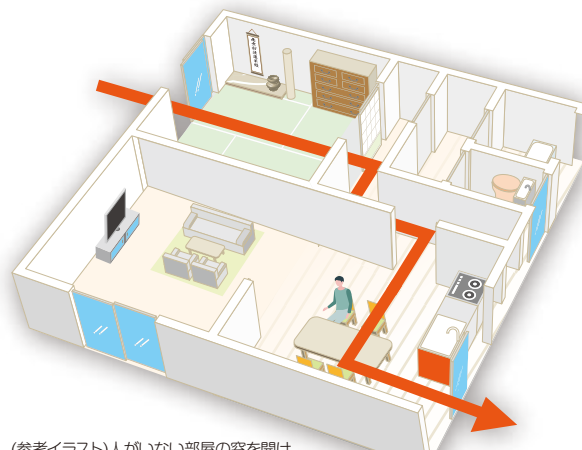
コロナウイルス対策について、真剣に耳を傾けていました。

11月18日(水)65歳以上のひとり暮らしの方を対象とした集い、ほのぼの会を開催しました。今年のほのぼの会は、川崎町地域包括支援センターの秋葉様より、健康体操や脳トレなどのレクリエーションや、コロナウイルス感染予防対策についてのポイントを講話いただきました。参加者からは、久々に体を動かすことができたし、コロナウイルスの予防の仕方などを勉強できたので、早速実行します。との声をいただきました。

冬場の換気について、一般家庭ではどのような工夫をしたらよいでしょうか。

季節を問わず、新型コロナウイルス対策には、こまめな換気が重要です。しかし、冬本番を迎え、寒さと換気に折り合いがつかないことが多いと思います。

室温が下がりすぎないように、上手に換気に取り組む必要があります。



(参考イラスト)人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れる換気方法(2段階換気)の例

窓空けのコツ

- 窓開けを行うと、一時的に室内温度が低くなってしまいます。暖房器具を使用しながら、換気を行ってください。
 - 暖房器具の近くの窓を開けると、入ってくる冷気が暖められるので、室温の低下を防ぐことができます。なお、暖房器具の種類や設置位置の決定に当たっては、カーテン等の燃えやすい物から距離をあげるなど、火災の予防に留意してください。
 - 短時間に窓を全開にするよりも、一方向の窓を少しだけ開けて常時換気を確保する方が、室温変化を抑えられます。この場合でも、暖房によって室内・室外の温度差が維持できれば、十分な換気量を得られます。
 - 人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れることも、室温を維持するために有効です。
 - 室温を18℃以上に維持しようとする、窓を十分に開けられない場合には、換気不足を補うために、HEPAフィルタ(※)による過式の空気清浄機を併用することが有効です。
- (※)HEPAフィルタは、「高性能エアフィルター」とも呼ばれることもあり、国内メーカーの多くの空気清浄機で使用されています。空気中に含まれる微粒子を取り除くことができます。

川崎町民生委員協議会研修会



丸森町災害ボランティアセンター
ここを拠点にボランティアの方々が活動されていました。

10月27日(火)川崎町民生委員協議会研修が開催されました。

今年度は丸森町社会福祉協議会より講師を招き、昨年甚大な被害を受けた丸森町の被災地の様子や、発災当時の民生委員の動き等の講話をいただきました。いつ起こるかかわからない災害に、平常時からの備えや住民の防災意識など、その地区に住む一住民として何ができたかなど、映像を見ながら詳しく説明していただきました。

今回、貴重な講話を聴きながら、いざ、災害が起きた時何ができるか、どう行動するか等改めて考えさせられました。

講師を快く引き受けていただきました、丸森町社会福祉協議会の谷津事務局長、加藤様、ありがとうございました。

川崎町ボランティア友の会研修会



10月20日(火)川崎町ボランティア友の会の研修が開催されました。今年度の研修会は、いつどこで起きるかかわからない災害に対し、昨年の台風第19号の被災地社協である角田市社会福祉協議会様に、当時の災害状況やボランティアセンター運営、ボランティアの動きなど、体験談を通して講話いただきました。

今回の研修に、昨年角田市でボランティア活動を行った柴田農林川崎校の生徒さんたちも参加いただきました。当時のボランティアの体験が心に残っていた様子です。角田市は復興に向けて着実に進んでいることを知るとともに、災害時の備えや心構え、個人として、地元ボランティア団体として、災害時に何ができるのかを皆さんで学ぶことができました。同じような災害が起きないことを祈るとともに、万が一の災害時に、今回学んだことを少しでも活かせるようにしていければと思います。

今回講師を快く引き受けていただきました、角田市社会福祉協議会の岡本様、黒田様、ありがとうございました。



台風19号
ボランティア活動の様子
(11月4日角田市内)